

福居



会報
第34号

昭和62年12月16日発行
発行所
福井商工会議所青年部会
発行責任者
小川修



あいさつする古川伸二商青連会長



会場の沖縄市民会館

第七回商工会議所青年部全国大会が十一月七日沖縄県沖縄市の沖縄市民会館で開かれた。本年度のスローガンは「翔こう商青連、創ろう日本の未来」で感受性豊かな全国の若い経済人が一堂に会した。式典ではまず、古川伸二全国商青連会長の挨拶、続いて来賓の方々の挨拶があった。

メンソールレ沖縄 第七回商工会議所青年部 全国大会開かれる

S62年11月
7日～8日
沖縄県沖縄市

そして主管の沖縄県の石川正一大会長が「昨今の経済情勢は、高度情報化社会や国際化社会の到来によって大きな社会環境の変化をもたらし、多様化する先の見えない不透明な時代に我々は、若い情熱と先見性を持って、青年経済人としての社会的な使命を認識し、経済の転換期といわれる厳しい時代を乗り越える大きな原動力とならなければならない」と挨拶した。その後、商青連の歌「伸びゆく大地」を合唱した。

二部のパネルディスカッションでは「世界経済の中で日本の果たせる役割」というテーマで活発に討論が行われた。その後、氏家康二氏の記念講演が行われた。第四部の懇親会では琉球舞踊や民謡が披露され、沖縄独特の雰囲気につつまれた。盛大な中で大会を終了した。

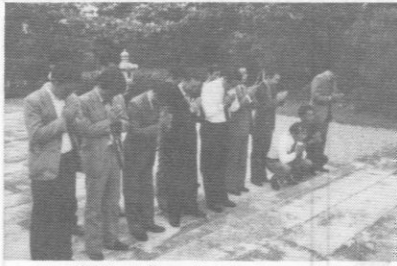
沖縄大会に 参加して

・小川 修

古川商青連会長が招へいする第七回全国大会に福井は23名の盟友が参加した。

随所に気配りのあふれた大会は、古川会長持前の心使いのせい、沖縄県人の誠実・温厚な人柄の反映か、両方相まっつての「気配り大会」の印象を受けた。

今も根強い反戦・平和の願いは、今一度歴史をみつめなおすようにという県民



福井の墓に手を合わせる一行

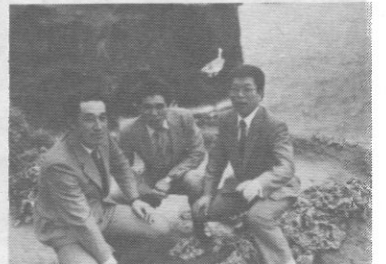
の祈りとみた。我々も今、注目しているコンベンション都市に、この県は早くから観光を目玉として取りかかっているが、その土壌が多く(将兵一万一千人、民衆一万一千人)の生命の上になり立っているという悲しみもあるだろう。

古川会長ご苦勞様でした。又、主管沖縄のメンバーご苦勞様でした。

・木村 茂生

十一月六日七時四分の雷鳥で、我が青年部の参加者は出発し一時頃那覇へ到着。その脚で沖縄南部巡りの観光、戦争の悲惨さに改めて心を痛めた。夕方より同業種交流会へ参加、私は建設部の会合に出席し、他県の色々な経験事に数多く勉強になった。

十一月七日全国大会へ参加、会場受付では伝統衣装で着飾った沖縄美人の出迎えを受け、大会始まりから古川会長の熱弁に感激し、すばらしい盛りりの内にセレモニーが終会した。



万座ビーチにて

懇親会も、主管の沖縄全体の誠意が強く感じられた。二次会では、ほとんど我ら福井勢の貸切りで非常に盛り上がり、各自の個性が発揮され楽しい思い出となった。

ただ、三日間とも天気には恵まれず残念ではあったが、他県との交流、我ら青年部仲間達と思い出残る三日間に、今後の青年部活動に意味ある参加だったと思う。

・永井 弘明

私が沖縄大会に参加するにあたって期待していたものに、リゾート開発の状況を見聞することがあった。あいにくの天候で本場の沖縄らしさは体験できなかった。



沖縄市内

だが、印象として言えることは、観光のコピーが先行している割に、リゾート開発は一部の本土資本に限られて、沖縄の産業として根づいていないということだった。マイアミやゴールドコーストの景観を期待していた私にとっては、ひめゆりの塔の前で、米軍の模倣

品を売っている売店には残念というより、あわれに思えてならなかった。

最終日に訪れた那覇のアーケード街の人々のエネルギーと、タクシーの運転手を代表とする人情のあたたかさ、本場の沖縄を感じた。

新しいネットワークに向けて

福井JICとの交流会

去る十一月二十五日(木)福井商工会館において、福井青年会議所と我が青年部との交流会が行われました。

これは、いま福井の街づくりを考えていくうえで、なぜ様々な団体が別々に活動するのかという発想の下、JC側より開催の依頼があり、実現に至ったものです。

当青年部からは、正副会長、事業系の委員長を中心に約十名出席しました。

両者は昨年度の市民の広場「街づくりネットワークの必要性」、福井フォーラム87「地域パワーの結集」にみられるように、福井の街について、共に同じ方向性を示しています。このような背景もあり、活発な意見の交換が行われました。「福井のイメージ力の欠如は、素材ではない。PR力、表現力の問題であり、全く

方向性がバラバラである」

「街づくりには、政治力人脈が必要であることを痛感する」「各団体連絡協議会設置の意見もあるが、それは単なる意見交換サロンに終わる恐れがある」「本場に街づくりを進めていくには各団体の枠を取り払った新組織が、街づくり勉強会

行動する青年部

福井テレビ社長

青園謙三郎氏を訪ねる

十一月十七日、小川修会長が、永井街づくりリーダーと、松村広報担当を引き連れて、郷土史の研究に情熱を傾けておられる、福井テレビ社長室に青園謙三郎社長を訪れた。

小川会長が青年部活動の現状を、「足羽三山を総合

の段階から機能し、事業の企画、準備へと移行していくことが望ましいのではないかと、リゾート開発の状況を見聞することがあった。あいにくの天候で本場の沖縄らしさは体験できなかった。

ここで敢えてまとめをするなら、福井には一貫した街づくりテーマ、核がないということ。だから各団体が様々な活動をしているながらも効果が表れないのです。いま福井に必要なのは、このテーマ、核の設定

的に開発していくために今、地質学、歴史学などの面から分析し今後の利用を考える必要があるのではないかと、市民の広場を来年二月に開催する予定でいる」と説明した後、青園社長は、福井の街づくりに最初に取り組んだ「柴田勝家」

みなさんよろしく

―新入会員プロフィール―

福田 恭太(やすお)

昭和二十八年一月十三日

福田公認会計士事務所

福井市花月四丁目

六―二二

電話 二三―二八七五

にスポットをあてて、初代福井市長「柴田勝家」が描いた街づくり構想がいまだに息づいているという。「まだ誰も書いていない柴田勝家伝を私のライフワークの集大成にしようと思っっています。」と言う若さみなぎる青園社長のお話に熱中してしまい、対談時間が、延びてしまったが、福井の将来に光を見たような気がした。

長い経験と技術の信頼のもと新しい時代の林業開発に活躍します。

●アフターサービス完璧の店●

製材・木工・林業
機械の総合商社



株式会社 荏安商店

取締役社長 荏安 祐信

本社工場 福井市城東4丁目1702(木材市場横) ☎(0776) 22-7578(代) ☎(0776) 22-7903
丸岡工場 坂井郡丸岡町 30-48
金沢営業所 金沢市湊 1丁目 49 ☎(0762) 38-1281(代)



株式会社 荏内ストアー

福井市大東 3丁目 3-12
☎営業店 53-5227 自宅 54-0871

「産業構造の

転換の時期がきている」

「会頭と語る会」開かれる



十二月四日、夜七時、商工会館三階常議員室にて、当会議所の、八木会頭をお迎えして、「会頭と語る会」が開催されました。

二日前より降り出した雪のため、めっきり冬らしくなった寒い夜にも拘わらず、熱気溢れる会員二十八名が参加して行われた。

第一部は、会頭が講演をされ、その内容は、

一、福井は、活性化という点で遅れている。

その最大の要因は、福井空港が未だに着工されていない。一日五便として、一便三五〇人で、片道一、七五〇人、往復で三、五〇〇人が利用する。その内の多数の都会から訪れる人達が持つ情報・技術等が、地

域に与える影響は計り知れず大きい。

一、国際化について
先般、開催された「福井カリフォルニア展」も含めて感ずる事は、我々はもつと外国語を勉強し、通訳なしで相手と話し合い、スキップを深めて、率直な意見の交換をすることで、国際社会へ進出すべきである。

また、福井を、大きく言えば日本を相手国の人に理解して戴くには、「福井カリフォルニア展」でも行なったように、ホームステイをすることで、外国の大使館員が、日本に赴任してきたら日本各地へ招待するとかして、生の日本の良さを知って戴き、母国への宣伝



八木会頭に記念品を贈呈

場に立つし、そうなれば日本経済も岐路に立つことになる。ドル暴落のない事を祈りたい。

一、福井の産業の現状について

福井は、輸出に依存する産業が多いので、円高・ドル安の影響をモロに受けている企業が多い。産業の構造転換の時期にきていると思う。福井は、昔からメーカーとの結び付きが強いので、メーカーの持つハイテク・新素材を福井へ持ち込み事業転換をして行く必要がある。

一、福井の街の核づくりの課題として

福井には、他県の人に注目されるものが何も無い。現在、美術館・博物館・図書館は、市内各地にバラバラに点在しているが、これを一箇所に集めて、道路と森で囲んで、市民の憩いの場にするとか、

福井城跡を中心に商店街を整備し直し、商店街の内は、道路と商店との間に一

定の距離を定めて空間を取り、アーケードを造り、プロムナードなウィンドーショッピング通りを造る。

また、福井は夜になると早い時間に灯が消えて暗くなるという悪い点がある。で、アーケードの内は、遅くまで灯を付けておくとか、県庁の周囲に水銀灯を多数設置して、堀に灯を写し出すとかして、駅北々お堀々仲見世々駅南に囲まれた地域を、一大「不夜城福井」にして、県内外にアピールすると良いと思う。

以上のような内容の講演の要旨で第一部を終り、地下議員サロンに場所を移して、第二部懇親会へと移り、会頭の、来年の大切にする言葉として、かの高杉晋作の言葉で、都々逸の唄の中の一部

「行こうか、戻ろうか、迷うが道を。まよまよ、越えなきゃ、夜が明けぬ。」

という、明治維新に賭ける一句を披露して幕が開き、会頭と、会員一人一人とお

リレー随筆

年の瀬に想うこと

株式会社カネコ
柴田 治是

最近、私の机の上が書類の山で自分でも、どの書類がどの資料かわからなくなってきた。

私自身、事務処理の合理化のための機器（パソコンやワープロ）を販売しているにもかかわらずこの有様です。全く恥かしい話ですが、これは、最近では、メーカーさんや問屋さんが、

て、他の若い経済人の集まりの団体の人達と、幅広く交流をし、リーダー的存在となり、福井の明日の経済を引張って行く会に育って欲しい。

Q 商工会館の移転が取り沙汰されていますが、青年部の役割は

パソコンやワープロを導入し、そのため資料がきれいで体裁の良いものが手軽にできる様になった事で、やたら販売マニュアル、製品マニュアル、販売資料が、大量に我デスクを占領し始めたためです。

自分でワープロとかパソコンを操作して初めてわかることですが、プリンターから打ち出される用紙も相当な量です。私の場合その内の半分はメモ用紙に変わるため、ムダになる量も相当な量です。パソコンを使ってのペーパーレスの事務処理とは、いわゆるほど簡単にいかないのが現実です。私も実際に使って初め

A これから、福井を背負って立つ若者達、青年部の意見も十分に反映させて行きたいので、どんな意見聞かせて欲しい。酒席で質問をという、失礼な行為でしたが、快くお答え戴き、ありがとうございます。

最近では、ワープロが手軽になって家庭にまで入ってきています。その作成された資料なり文章は、確実に我々の身近に入り込んできて、ゴミの山を出す可能性をもっています。

私自身、随分本音と建前は違うと思っていますが、毎年大晦日近くになり、会社の大掃除をしようと、いろいろなカタログや資料が大量に出てきて、ついそんな事考えてしまいます。次回、田谷仁一さんにお願います。

新品部品を注文される前に！中古部品で見積りをしてみませんか？



豊かな情報・部品知識と全国ネットの部品流通システムであなたのご希望の部品をお手元までお届けします。

大和自動車(株)

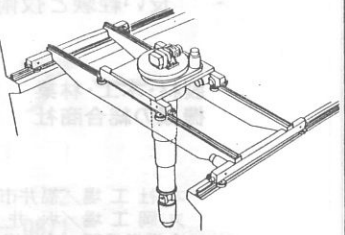
本社：福井市文京6丁目27-10
TEL: (0776)23-1017 FAX: (0776)23-1040

ワイヤーホイスト、チェーンホイスト、ホイスト式クレーン、オートクレーン、クレーン部品、建設機械

〒910-01 福井市八重巻東町3-13 TEL (0766) 56-2883代



オスログレーン



企業訪問

株式会社 磯川建設



専務取締役 磯川 賢一

所在地

福井市福町二八―四九

電話 三五―二九四二

営業種目

一般建築、土木工事

鋼構造物工事業

当社は福井市の西南「社地区」に所在しており、磯川光治が大正十年に創業以来今日に到っております。

ご承知のように、社地区は福井国体の開催を契機として、地域の様相が一変し、以後「ベッドタウン」として、又、循環道路の整備に伴い商業地域としても増々発展してきております。

このような時代の遷り変りの中で当社も自らの事業をおして地域開発の一翼を担ってまいりました。

しかしながら、現下の厳しい時代環境にあつては、

旧態依然のままでは時代の趨勢に取り残されるのは必定であり、当社としても、いままでの暖簾のうえで安穩としている時代は過ぎ去つたとの認識で、いくつかの指針を打ち出し、これに取り組んでいます。

(一) 技術の高度化を目指すなかで他社との差別化を図って行く(そのためにも人材の確保及び教育に力を注ぐ)

(二) 施工期間の短縮、作業工程の合理化を図るために関連業者と一体となったTQC活動の充実

(三) 営業活動を強化するための情報ネットワークを完備させ、異業種間交流を積極的に図る。

同時に、創業時の原点に立ち返り磯川光治が野鍛冶業から出発し、地域との密接な繋りの中で発展してきたように、当社も地域という空間を充足させるコミュニティ企業として地域に

存続する会社になりたいと思つていきます。

スポーツの秋

ついに初勝利

親善ソフトボール大会

去る十月三十日、福井市商工部、繊維産元青年部との親善ソフトボール大会が開発グラウンドにおいて、開催された。結果は、次のとおり。

第一位 繊維産元青年部

第二位 商工会議所

青年部

第三位 福井市商工部

さらに、続いて十一月一日、青年会議所との親善を兼ねて場所も同じ開発グラウンドで、当青年部から一チーム、青年会議所から五チームが参加して開催された。当青年部の戦績は、次のとおり。

対役員チーム、八×八

(九名によるジャンケン

〇×五で敗退)

会員開発室Aチーム

敗者復活戦 十五×六

第九回

翔生ゴルフクラブコンペ

11月26日 芦原GCにて

初冬にしては珍しく晴れた絶好のゴルフ日和りで、本年最後のコンペというところで、一同のハリキリ様はたいへんなものでしたが、ご覧のように、結果はお恥ずかしい限りで、優勝の浅井さんが辛うじて七〇代というスコアでした。

優勝 浅井新治さん

二位 中村典幸さん

三位 藤井雅喜さん

ニアピン賞

淡島・古野・古川

ドラゴン賞 上野・淡島

ベスグロ賞 中村

その他、淡島さんの豪快なドライバーの後のチョロ、古川さんの出だしの三連続OBなど、ゴルフのむずかしさを改めて思い知りました。今回は九名と寂しかったので、来年より皆様の多数の参加をお願いします。来年の幹事は木林さんと江上さんをお願いしました。

翔生ゴルフクラブ一同

修理 小売 製造 人形



おくむら

福井市足羽3丁目8番21号(福井紡績信号南130m) TEL (0776) 35-8588